研究授業Ⅰ

第６学年社会科「国力の充実をめざす日本と国際社会」

授業者：平井　千恵

【各教科・領域において習得した**知識（内容知・方法知・体験知）の活用・発揮が促され，互いの探究のプロセスが充実**していくイメージ】

社会科「奈良時代～江戸時代（歴史学習）」

・天皇国家から，幕府に政権が移り武士の世の中になったことで，身分制が生まれ，様々な制約や差別が生まれたという知識が，解放令や全国水平社運動等についての**情報収集のプロセスを充実させる**。

社会科「公民学習」

・「国力の充実をめざす日本と国際社会」の学習における問題解決①をとおして得た国会のしくみや大日本国憲法の知識が活用され，「公民学習」における人権や身近な問題に対する**課題設定のプロセスを充実させる**。

情

課

社会科　「国力の充実をめざす日本と国際社会」

問題発見
「何（誰）のために国力を充実させようとしたのだろう」

問題解決①
「事象をもとに，国力と国民の充実度を探っていこう」

問題解決②
「国を充実させるために必要なことを考えよう」

探究力

課

情

課

CHANGE「ハテナチャンプ」

・日常の中で気になったことを疑問にする意識が社会科の問題発見の場面に活用され，**課題設定のプロセスを充実させる**。

CHANGE「戦争を忘れない」

・富国強兵を進め，諸外国に対して働きかけた結果，太平洋戦争へつながり，大きな被害と悲しい出来事が起こったという知識が活用され，問題解決①の情報を関連付け，戦争についての**情報収集のプロセスを充実させる**。

道徳科「光をともした魔法の薬」

・ノーベル医学生理学賞を受賞した大村智さんの功績や道徳的な価値が生かされ，社会科の問題解決②の学習において大正時代に世界の人々のために貢献した野口英雄や北里柴三郎の功績を考えることで**課題設定のプロセスを充実させる**。